

鹿児島から秋田・能代へ

写真は、鹿児島県霧島市のプロ・カメラマン、中村イサムさんが、2020年12月3日に秋田・能代から戻る途中、機内から撮影した「赤富士」です。中村カメラマンは、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の種子島ロケット基地でロケットの組み立てや輸送、打ち上げの記録写真を手掛けており、能代市にあるJAXA実験場でも仕事の調整をしています。



大高さんが秋田魁新報に掲載

2021年1月15日付け秋田魁新報に福岡・秋田県人会会員、大高広和さんの寄稿が大きく掲載されました。見出しは「神宿る島」と日本海交流、～世界遺産の現場から秋田を遠望する～、

九州沖縄秋田県人会だより2020年11月号との比較で新しい原稿を一部抜粋させて頂くと、「思えば私の故郷の男鹿半島は、かつて日本一の広さの入り海だった八郎潟の南北に伸びる長い砂州によって、辛うじて本州に繋がっている陸繋島(りくけいとう)だ。海岸、砂丘地帯、松原、潟ー男鹿の海沿いで生まれ育った私が幼い頃から見慣れた日本海沿いの地形や風景が、徐々に自分の中で宗像のそれらとつながっていった。(中略)諸説あるものの、宗像の地名は『かた(潟)』に由来すると考えられ、象潟や新潟も同類だろう。」と指摘されています。



おおたか・ひろかず
1988年男鹿市生まれ。博士(文学)。
専門は日本古代史。2012年から福岡
県文化振興課世界遺産登録推進室(現世
界遺産室)勤務。



沖縄

秋田県人沖縄会：2020年11月から毎月第3土曜日の例会をコロナ禍の中で見合わせています。

2021年3月に例年、秋田県遺族連合会と実施している摩文仁の丘、千秋の塔での慰霊祭も中止しました。

佐賀

コロナ禍で2021年新年会を見合わせました。開催出来るようになりましたら、ご連絡致します。

熊本

2021年3月に開催予定の警固神社「第10回キリタンポ鍋チャリティ」と4月の「定時総会」をコロナ感染予防の為、いずれも開催を見合わせます。

福岡

会員の皆さんの近況交換の為、往復はがきを、お送り致します。返信ハガキに近況を書いてお送り下さい。5月の博多どんたくパレードも、原稿時点(2月5日)では、開催が未定です。開催出来る場合は、改めて、ご案内致します。

募集

会報へのご意見、ご感想、投稿をお願い致します。

宛先は、福岡・秋田県人会、中村靖、

メールアドレス：o-nakamura@mms.bbq.jp

郵送の宛先：〒819-0013、福岡市西区愛宕浜2-3-11-1406

